

認知症



転倒防止

身体拘束を回避したうえで、なお“転ばせない”ケアはいかに設計可能か。認知症の人にとっての「動きたい」という意思を尊重しながら、環境要因・薬剤要因・身体機能要因を多層的にアセスメントし、福祉用具・生活動線・見守り技術を組み合わせた転倒予防の実装モデルを提示するセミナーです。

開催日時 2026**11/16** 月 17:00-18:30**11/17** 火 15:00-16:30**11/18** 水 12:00-13:30

※全日程とも同じセミナー内容となります。

参加費 無料**参加特典**

セミナー参加後、アンケートにご回答いただくと「受講証明書」と「受講テキスト」をプレゼントいたします！

**講師****小平めぐみ** 氏

国際医療福祉大学大学院 准教授

介護現場での実務（介護職・ケアマネジャー）を経て、2011年より国際医療福祉大学にて教育・研究に従事。介護職やケアマネジャーとしての豊富な現場経験を基盤に、自立支援介護の理論と実践、ケアマネジメントの高度化を研究。日本ケアマネジメント学会評議員等の要職を務め、ICTを活用した重度化予防や排便ケアのシステム開発など、エビデンスに基づく自立支援の普及、多職種連携によるケアの質の向上を追求している。

**お申込みは
こちら。****WEBからの
お申し込み
はこちら！**